

情報通信審議会 情報通信技術分科会  
ケーブルテレビシステム委員会  
報告概要

平成19年3月30日

## ケーブルテレビシステム委員会報告 審議経過等

### 《審議経過》

#### ● 第1回委員会(平成18年10月16日)

委員会の運営方法、審議方針、検討項目及び審議スケジュール等について審議を行った。また、審議の促進を図るため、作業班の設置が認められた。

#### ● 第2回委員会(平成18年11月27日)

作業班からの中間報告を基に技術的条件について審議を行った。

#### ● 第3回委員会(平成19年1月30日)

ケーブルテレビシステム委員会報告(案)について審議を行い、当該報告(案)について、パブリックコメントを募集することとした。

#### ● 第4回委員会(平成19年3月15日)

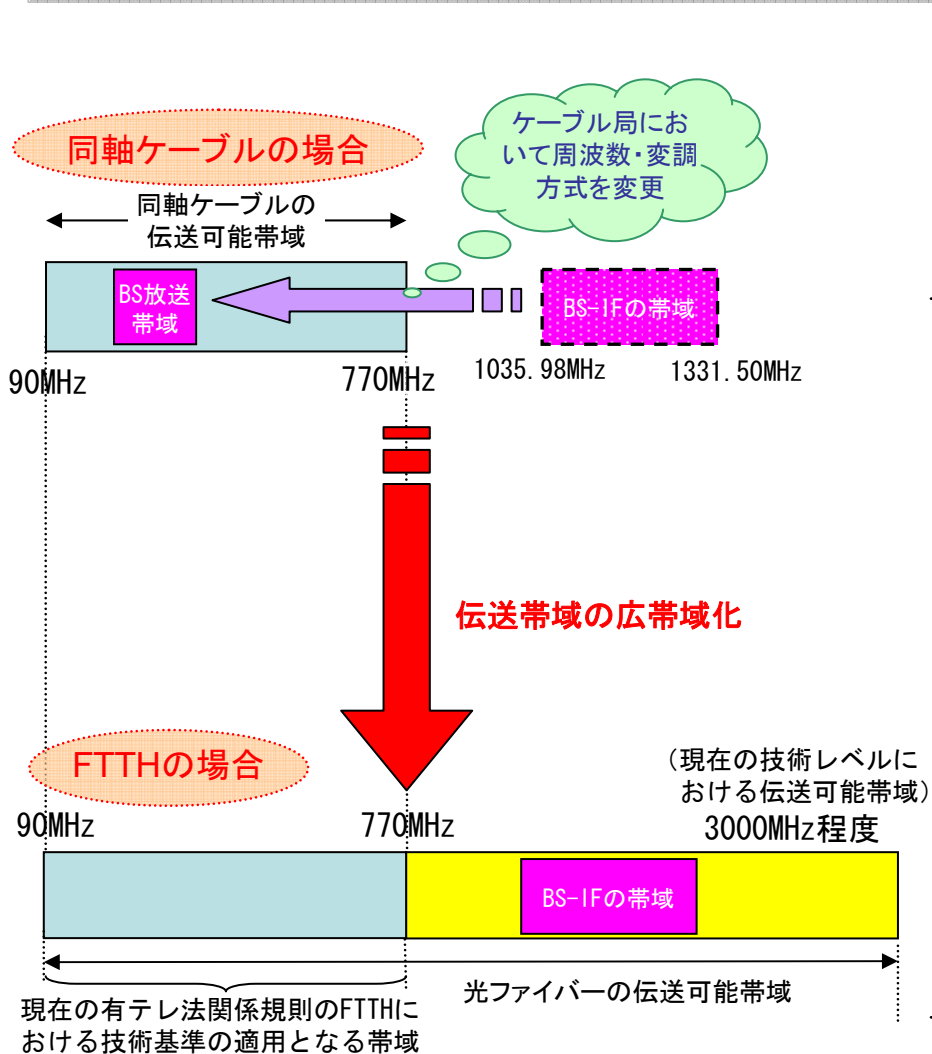
「ケーブルテレビシステムの技術的条件」のうち、「FTTHの伝送帯域の拡大に伴うBS-IF等パススルー伝送並びに情報源符号化方式及び伝送路符号化方式の高度化に関する技術的条件」の検討を行った。

以上の期間中において、作業班を5回開催し、詳細な審議を行った。

### 《パブリックコメント募集》

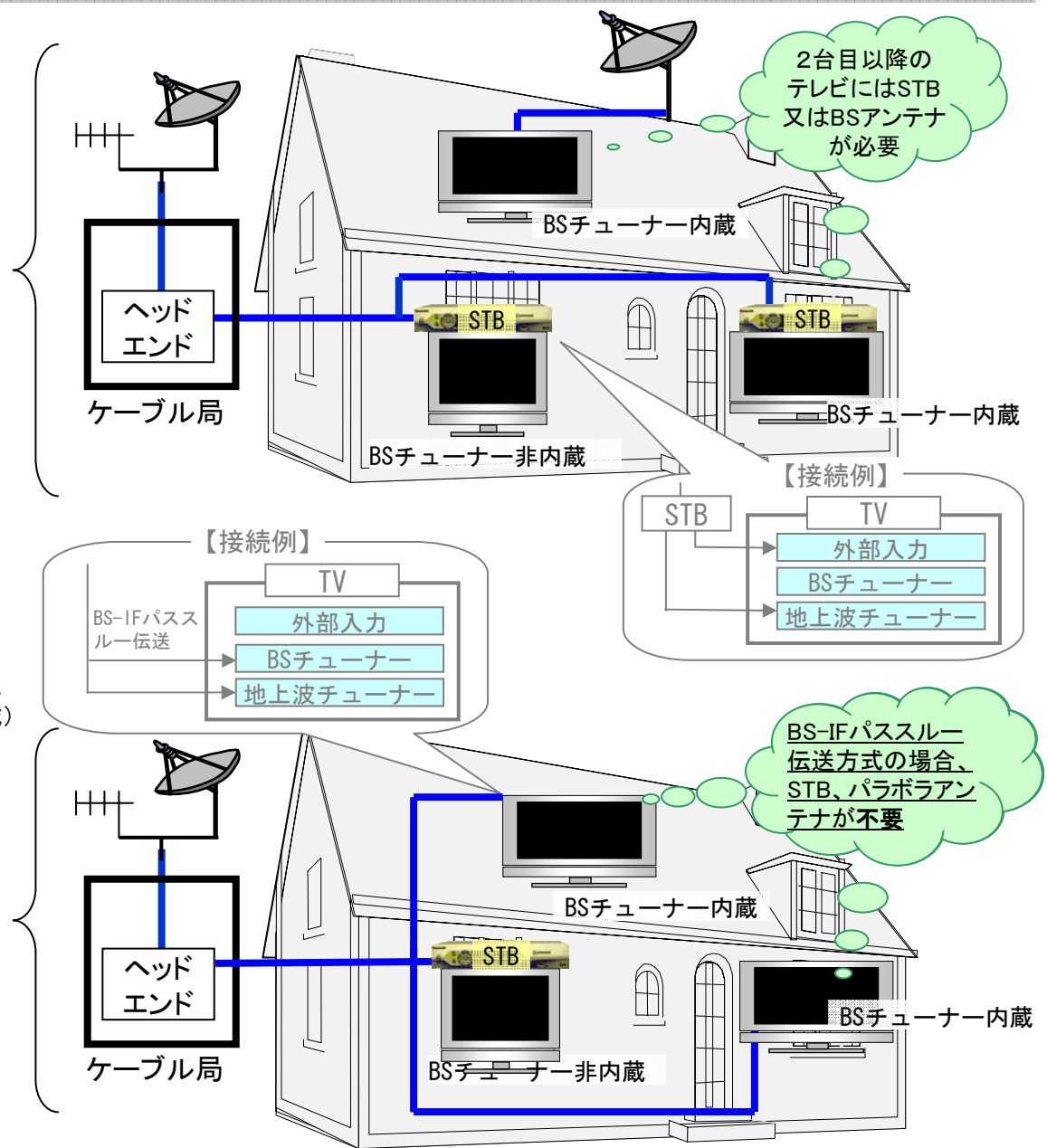
平成19年2月2日から同年3月5日までの間、ケーブルテレビシステム委員会報告(案)について、パブリックコメントを募集した。  
この結果、意見等の提出はなかった。

# ケーブルテレビシステム委員会報告概要 (BS-IF等パススルー伝送)



① FTTHにおけるBS-IF等のパススルー伝送

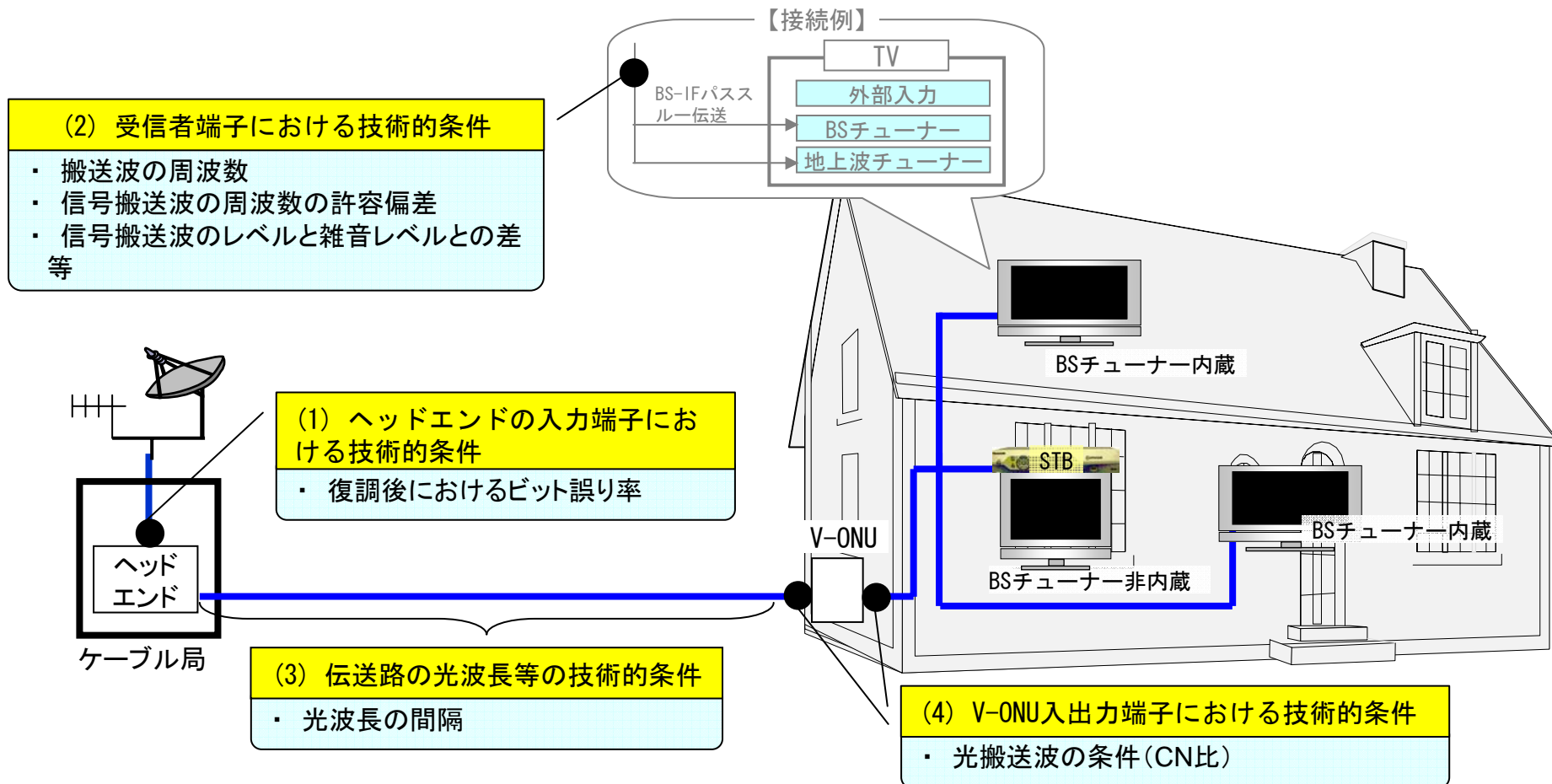
検討結果(次ページ)



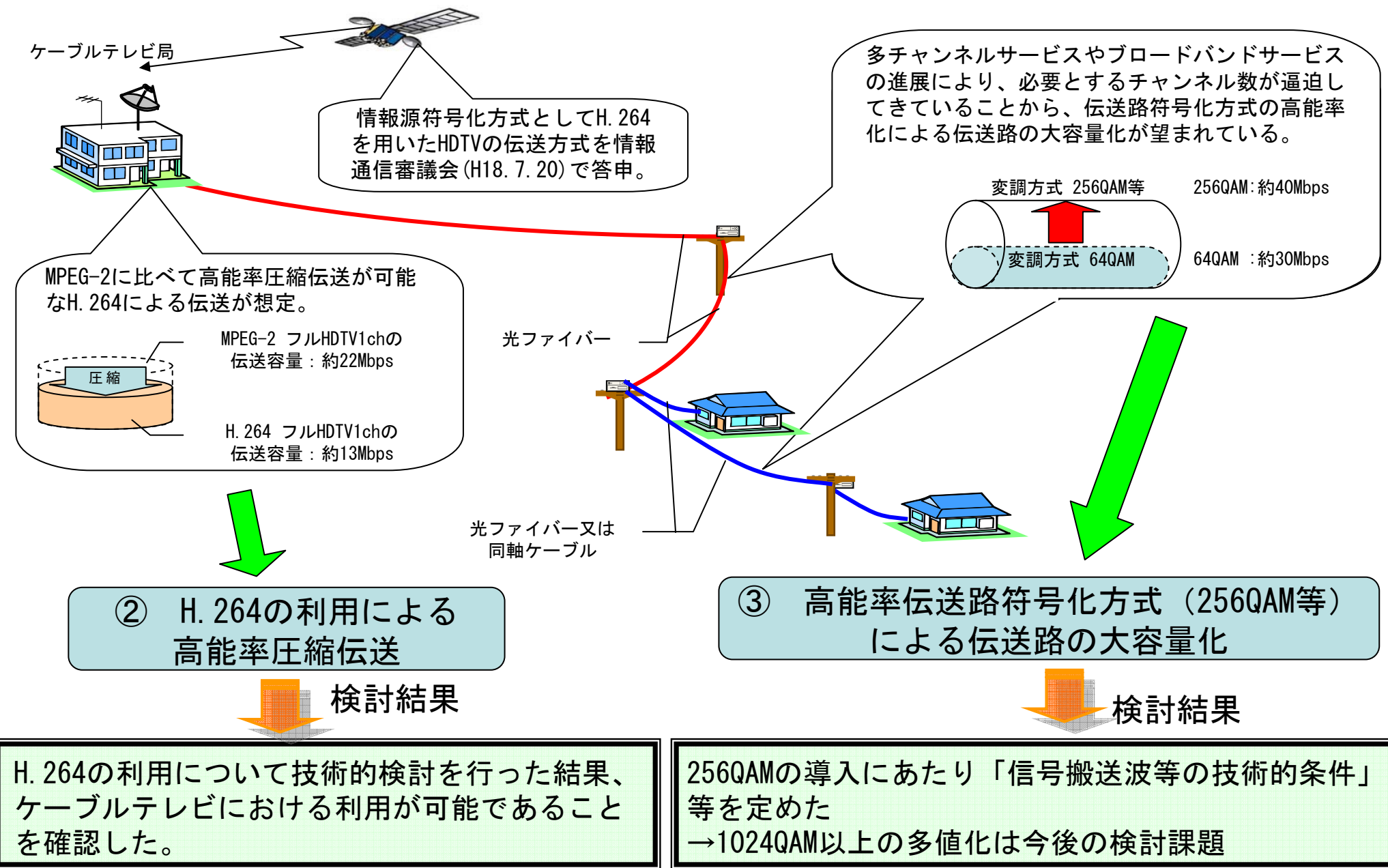
# ケーブルテレビシステム委員会報告概要（BS-IF等パススルー伝送）

BS-IF等パススルー伝送について、電気信号及び光信号に係る技術的条件を定めた。

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| (1) ヘッドエンドの入力端子における技術的条件 | } 電気信号に係る技術的条件 |
| (2) 受信者端子における技術的条件       |                |
| (3) 伝送路の光波長等の技術的条件       | } 光信号に係る技術的条件  |
| (4) V-ONU入出力端子における技術的条件  |                |



# ケーブルテレビシステム委員会報告概要（チャンネル数の増大）



## 今後の検討課題

### ○ FM一括変換方式のBS-IF等パススルー伝送

FM一括変換方式によるBS-IF等パススルー伝送に関しては、導入実績がなく、また、V-ONU出力信号に広帯域FM信号の漏れ込みが生じた場合、V-ONU出力信号のCN特性が劣化するおそれがあることから、今後の検討課題とした。

### ○ 1024QAM以上の多値QAM変調方式

1024QAMに関しては、現状のアナログ信号との同時送信における伝送路の要求性能が厳しく送受信機の製作等にも課題が残っていることから、今後の検討課題とした。

### ○ IPマルチキャスト方式に関する技術的条件

今後、IPマルチキャスト方式に汎用的に適用可能な画質や伝送品質の評価方法が確立されたり、多くの事業者が統一された伝送方式を採用するようになった場合には、事業者の負担軽減、マルチベンダー化の促進等の観点からは、その技術的条件を検討することも合理性があると考えられる。したがって、当該技術的条件について、国内外の標準化動向等を踏まえ、その必要性も含め継続的な検討を行うことが適当である。